品質性能試験報告書

一般財団法人 建材試験センター

中央試験所長 ****

埼玉県草加市稲荷5丁目21番20号

試験名称	壁の防火性能試験
依頼者	名称：**** 所在地：****
試験体	構造名：**** 商品名：**** 建築物の部分：外壁（耐力壁） 形状・寸法：別図1～別図10に示す。 密度：**** **kg/m ³ (40℃乾燥) **** **g/cm ³ (105℃乾燥) **** **g/cm ³ (105℃乾燥) 含水率：**** **質量% (105℃乾燥) **** **質量% (105℃乾燥) **** **質量% (40℃乾燥) 備考：・密度及び含水率の値は、依頼者から提出された試料から求めた。 ・構成材料及び試験体図は、依頼者の提出資料による。
試験方法	(一財) 建材試験センターが定めた「防耐火性能試験・評価業務方法書」の防火性能試験。 目標とする加熱時間：30分間 試験荷重：**kN (平成13年国土交通省告示第1024号の第一による長期応力に対する座屈の許容応力。ただし $F_c = **N/mm^2$, $l_k = **mm$ 。試験荷重の計算を別表1に示す。) 内部温度測定位置を別図10に示す。 加熱温度測定位置を別図11に示す。 裏面温度測定位置を別図11に示す。 载荷加熱方法及び変位測定位置を別図11に示す。

つづく

つづき

試験結果	試験年月日	****年**月**日		
	試験体の大きさ (mm)	**×**		
	加熱面	屋外側		
	加熱を実施した時間	**分**秒間		
	加熱温度測定曲線	別図 12		
	荷重及び軸方向収縮変位測定曲線	別図 13		
	裏面温度測定曲線	別図 14		
	最大軸方向収縮量	**mm ¹⁾ [規定値 32.0mm]		
	最大軸方向収縮速度	**mm/分 ¹⁾ [規定値 9.6mm/分]		
	裏面温度	初期 (平均)	**℃	
		最高	**℃ (**分) ¹⁾ [規定値 208℃]	
		平均	**℃ (**分) ¹⁾ [規定値 168℃]	
	非加熱側へ 10 秒を超えて 継続する火炎の噴出の有無	***		
	非加熱面で 10 秒を超えて 継続する発炎の有無	***		
	火炎が通る亀裂等 の損傷の有無	***		
	判定項目を満たすこと が確認された時間	**分間		
	[備考] ・経過詳細：試験開始後**分**秒に、荷重支持能力が失われたため、試験を終了した。 ・面外方向たわみ測定曲線（参考）を別図 13 に示す。 ・内部温度測定曲線（参考）を別図 15 に示す。 ・試験体の状況を写真 1～写真 5 に示す。			
注 ¹⁾ 荷重支持能力が失われる直前までの結果を示す。				
試験期間	****年**月**日			
担当者	防耐火グループ 統括リーダー	***** ***** ***** (主担当)		
試験場所	中央試験所（埼玉県草加市稲荷 5 丁目 21 番 20 号）			

別表 1 試験体の試験荷重

1) たて枠の材質
・種 類 : 枠組壁工法構造用製材
・区分・等級 : * * * * *
・樹 種 : * * * * *
・圧縮基準強度 F_c : ** (N/mm ²)
2) たて枠の断面寸法及び材長
・断面寸法 : ** × ** (mm)
・断面積 : ** ** (mm ²)
・断面二次半径 i : ** (mm)
・座屈長さ l_k : ** (mm)
・有効細長比 λ : * * * *
・荷重を支持するたて枠の本数 : 5 本
3) たて枠の長期許容応力度は、平成 13 年国土交通省告示第 1024 号の第一に定められる木材の圧縮材の座屈の許容応力度より、以下のように求められる。
・ $\lambda \leq 30$ の場合 $\frac{1.1}{3} F_c$
・ $30 < \lambda \leq 100$ の場合 $\frac{1.1}{3} (1.3 - 0.01\lambda) F_c$
・ $\lambda > 100$ の場合 $\frac{1.1}{3} \cdot \frac{3000}{\lambda^2} F_c$
$\lambda > 100$ であるから、
長期許容応力度 = $\frac{1.1}{3} \times \frac{3000}{\lambda^2} F_c$
= * * × * * × * *
= * * (N/mm ²)
4) 試験荷重 $P =$ 長期許容応力度 × 荷重を支持するたて枠の総断面積
= * * × (* * × * *)
= * * (N)
= * * (kN)

～～以下、省略～～

(試験体図 (依頼者提出資料)、試験方法図、測定結果のグラフ、試験後の状況写真 等が続きます。)

Sample